

教育委員会（委員長 八重樫 伸生）

〔事業報告・報告事項〕

1. 平成 28 年度決定済みの予定

講習会	開催日	開催地・実施委員長
第 125 回細胞検査士養成講習会	2016 年 7 月 4-16 日	東京医学技術専門学校：東海大学医学部・伊藤 仁
第 41 回細胞診断学セミナー	2016 年 8 月 4-7 日	東京医学技術専門学校・教育委員長
第 71 回細胞検査士教育セミナー	2016 年 8 月 27-28 日	日本教育会館：片山 博徳
第 72 回細胞検査士教育セミナー	2016 年 9 月 10-11 日	松下 IMP ホール：矢羽田 一信
第 72 回細胞検査士ワークショップ	2016 年 7 月 23-24 日	札幌医科大学：田上 稔
第 73 回細胞検査士ワークショップ	2017 年 2 月または 3 月の土日	会場未定：平田 哲士

2. 現在、セミナー・ワークショップの原価計算を行っており、その結果、適正な受講料案が事務局より提出される予定である。

〔審議事項〕

特になし

渉外・広報委員会（委員長 加来 恒壽）

〔事業報告・報告事項〕

1. 医療関連サービス振興会（本委員会の委員長は振興会の副委員長）の年 2 回の会議に出席し、全国の検査施設の病理組織診・細胞診が欠陥無く行われているかをチェックした。
2. 日本がん治療認定医機構の関連学会連絡委員会に出席し、学会として求められた対応を行うとともに情報の収取・共有に努めた。
3. 日本臨床検査標準協議会に出席し、学会として求められた対応を行うとともに情報の収集・共有に努めた。
4. 衛生検査所調査指導中央委員会に出席し、学会として求められた対応を行うとともに情報の収集・共有に努めた。

〔審議事項〕

青木理事長より、学会員への施設認定や細胞検査士のバーコード再発行などの広報を徹底化するため、ホームページに up-to-date された情報について加来委員長を通じて会員に一斉メール送信する広報システムを構築して欲しいとの要望があった。

社会保険委員会（委員長 稲山 嘉明）

〔事業報告・報告事項〕

1. 平成 28 年度診療報酬改正の総括
 - *セルブロック法が N004 細胞診の項目に掲載された(860 点).ただし,悪性中皮腫を疑う場合に限定されている.
 - *細胞診として扱われているので,現状ではこれを用いた免疫染色は不可と思われる.
2. 平成 30 年度改正にむけた要望の検討に入る.具体的には,委員会開催,メール審議,必要に応じてアンケート調査,関連学会等との話し合い,内保連出席など.

〔審議事項〕

特になし

地域連絡委員会（委員長 広岡 保明）

〔事業報告・報告事項〕

1. 平成 26 年度支部・連合会活動報告および定点観測について
現在集計中である.活動報告は,第 57 回日本臨床細胞学会総会(春期大会)中に開催される全国地域代表者会議で報告する予定である.
2. 「子宮の日」の子宮頸がん検診推進活動支援について
 - (1) 平成 28 年度の助成金申請書の受付を 3 月 31 日締切で行った.
43 地域学会より申請があり,申請があった地域学会に「成果報告書」の提出をお願いした.
 - (2) 平成 27 年度の子宮の日の成果報告が 39 地域学会よりあった.イエローページに成果報告一覧として掲載予定である.

〔審議事項〕

1. 定点観測に関する今後の方針について
定点観測については,第 57 回日本臨床細胞学会総会(春期大会)中に開催される全国地域代表者会議にて審議し,活用していないようであれば廃止する方向性が提案され,承認された.また,過去の定点観測報告については論文化などで記録に残す方向性が示された.

国際交流委員会（委員長 森谷 卓也）

〔事業報告・報告事項〕

1. 2 国間交流
 - 1) 第 6 回日中細胞診合同会議は開催に向けて日程等調整中.
 - 2) 第 15 回日韓細胞診合同会議
開催日:2016 年 10 月 29 日(土)
開催地:韓国・済州島(Jeju Hyatt Hotel)

(本年は韓国細胞診の30周年にあたり、行事が催される予定)

(2017年以降は毎年9月第1週金曜日・土曜日に開催の予定)

2. 国際・アジアフォーラム

1) 第57回日本臨床細胞学会総会・春期大会(会長 青木大輔)

開催日：2016年5月28日(土)-29日(日)

開催地：横浜

国際・アジアフォーラム(Global Asia Forum)

担当：榎本委員, 宮城先生

2) 第55回日本臨床細胞学会秋期大会(会長 横山繁生)

開催日：2016年11月18日(金)-19日(土)

開催地：別府

国際・アジアフォーラム(Global Asia Forum)

担当：南部委員, 小林先生

[審議事項]

長村監事より、以前から行っている Australian society of cytology (ASC) との人事交流について検討して欲しいとの要望があった。

制度審議委員会 (委員長 川本 雅司)

[事業報告・報告事項]

1. 理事会, 総会承認に基づく定款, 細則改定の実施
2. 各委員会内規の把握とりまとめの実施
3. 評議員申請時の業績点数の解釈を統一するため、『評議員選任に関する施行細則』改定作業を開始した。

[審議事項]

1. 施設認定についての施行細則と申し合わせ事項の変更について
施設認定制度委員会の項 審議事項 1と同様。

医療安全委員会 (委員長 森井 英一)

[事業報告・報告事項]

1. 医療安全セミナーの開催
第57回(2016年)春期大会および第55回秋期大会において医療安全セミナーを開催する。第57回総会では「臨床細胞検査等における医療安全について」を行う。
2. 第55回秋期大会では, 医療安全セミナーとともに, 医療安全の観点から特に重要な感染対策についてのセミナーも開催する。
3. 専門医機構の要求に沿い, 倫理的な観点からの指定講座について現在協議中である。
4. MSC ホットラインを継続する。利用実績が乏しいので周知を図るよう努力する。

[審議事項]

特になし

倫理委員会 (委員長 河原 栄)

[事業報告・報告事項]

1. 各大会中に倫理にかかわる教育セミナーの実施.
2. 第57回(2016年)春期大会にて, 倫理委員会指定セミナーとして黒木登志夫先生による「研究不正—その実態と背景、対策について—」を企画.

[審議事項]

1. 委員会開催時における外部委員の日当と交通費について(臨床試験審査委員会との合同提案)
前理事会にて提案された委員会開催時における外部委員の日当と交通費の支出基準について, 日当は半日2万円とすること, 交通費は本学会の旅費規程に従うことが池田総務委員長より提案され, 承認された.

利益相反委員会 (委員長 藤井 多久磨)

[事業報告・報告事項]

1. COI 自己申告書・COI に関わる指針・細則の改定
2. 利益相反自己申告書の提出のスケジュール化
3. 利益相反自己申告書の送付と未提出者報告

[審議事項]

特になし

臨床試験審査委員会 (委員長代理 河原 栄理事)

[事業計画・報告事項]

1. 臨床試験審査を随時行っていく.

[審議事項]

1. 委員会開催時における外部委員の日当と交通費について
倫理委員会の項 審議事項 1 と同様.

IAC 連絡委員会 (委員長 長村 義之)

[事業報告・報告事項]

1. The 19th International Congress of Cytology(略称: ICC2016)開催前日, 5月28日(土)12:00~17:00でIAC試験の実施.
2. ICC YokohamaでのIACの式典, 諸種プログラムなどの詳細の決定作業が進んでいる.
3. Executive Council 2016-2019がICC2016の終了とともに職務を開始する.